

たあとるほいくえん

【令和3年度 自己評価への取り組みと状況報告】

今年度1年を振り返り、あなた自身の評価を行ってください。

1→5(悪い→良い)の5段階評価。また、あなた自身が下記項目以外で、「良いと思うところ」「これから改善しようと思うところ」も記載してください。

保育の計画性

たあとるほいくえんの保育理念・方針を理解し、達成できるように計画を立てている。	3.3
子ども一人ひとりの発達過程や興味を把握し、計画を立てている。(月案・個人計画)	3.3
保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている。	3.3
評価結果をもとに保育の改善に努めている。	3.4
楽しい雰囲気の中で、安定してあそべる環境構成を考えている。	3.5
配慮の必要な子どもには、その子に応じた計画を立てている。	3.3
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人が機嫌良く過ごせるように生活リズムを把握し、家庭でリズムが崩れてしまった場合も柔軟に対応できた。 ・それぞれの子どもに合わせて計画を立てようとした。 ・全クラスミーティング(緑のノート)は日々目を通すように心掛けていた。 ・開示されている資料には目を通し、分かる範囲で適切に支援ができるよう努めている。 ・週ミーティングで各クラスの姿が知ることができて共通理解にもなり良いと感じた。 ・保育計画を立てる事はありませんが、担任の先生に確認しながら同じ方針で保育ができるように努力している。 ・子どもに応じた保育の方法について保育者間でよく相談し合うことができ、計画についても多様な考え方ができた。 ・クラス内で把握できている。 ・月案など子どもの成長に応じた保育ができるように保育者同士話し合えた。
改善点(策)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が作成した個人計画以外に目を通せていない月があった。担任全員で子どもの目標達成に向けての援助が行えるようしっかり目を通す。 ・一人一人のペースに合わせて計画を変えていくことも大事だと感じる。 ・月案・個人計画も目を通し、一人ひとりの発達を把握する。 ・クラスにじっくりと入ることがなかったので子ども一人ひとりの発達過程をきちんと把握できていなかった。主担任の先生に自分から聞きに行ったりして把握して関わりたい。 ・計画などを知れるよう積極的に情報収集に努めたい。 ・子どもの姿を振り返る機会になるので、日々の様子も丁寧に見ていきたいと思う。 ・日々の保育を振り返り、保育士の先生の動きや対応を見て学んでいく。 ・担任やクラスによく入って頂けるパートの先生方とは保育方針について共有できていたが午後や短時間接する先生方とは十分でなく戸惑わせてしまったと思う。 ・保育者間でも、もっと個人案などを把握できるよう話す機会があるといい。 ・担任の先生方から計画を見せて頂くようにしたらよかったです。 ・その月の改善点も話し合えたらよかったです。

子どもとの触れ合い・対応

一人ひとりの人権を大切に関わっている。	4
一人ひとりの思いを受け止め、思いをできるだけ実現してあげようとしている。	4
一人ひとりの目標と課題を明確にし、見通しを持って関わっている。	3,4
一人ひとりの子どもの話を同じ目線で聞き、丁寧に関わっている。	3,8
子どもの手本となる言葉使いや挨拶が出来ている。	3,7
子どもの名前は呼びすてにしていない。	4,3
すべての子どもと公平に関わっている。	4,2
オムツ交換・お着替え時は、優しく声掛けし、スキンシップをとっている。	4,2
必要以上に「禁止・命令・行動を急かす・自信を失わせる言葉や態度をしていないか。	3,7
子どもに対する適切な言葉遣いができている。	3,8

良いところ

- ・子どもが嫌がったり怒ったりしている時、まずはその気持ちを受け止める声掛けをしようと心がけていた。
- ・子どもによって関わり方を変え、一人ずつに寄り添えるよう心掛けた。
- ・子どもの気持ちに共感しようとしている。
- ・スキンシップを沢山とった。
- ・前向きに楽しんで行動ができるように考えて言葉がけをしている。子どもの意見をしっかり聞くように心掛けている。
- ・言葉遣いや接し方には常に気を付けて対応している。
- ・朝は「おはよう」と一人ひとりに声をかけるようにしている。自分自身も子どもたちと楽しんでいる。
- ・言葉の発達や成長を喜び、話をしっかり聞く、スキンシップを多くとることができていた。
- ・1対1での関わる時、集団の時も一人ひとり変わらず関わられるよう心掛けた。
- ・一人ひとりの子どもに対して大切に思い関わろうとした。

改善点(策)

- ・禁止や命令の声かけは意識して行わないようにしているが、行動を急かすことは多々あったと感じるので、日頃からゆったりと丁寧な保育を心がけたい。
- ・気持ちに余裕がなくなると丁寧さに欠けるので注意する。
- ・語尾まで丁寧に話したい。
- ・引き続き、子どもたちと丁寧に関わられるように努力したい。
- ・自分で気付いていない点もあると思うので第三者の意見も参考にしたい。
- ・行動を急かしてしまうことがあるので、一度落ち着き関わるように気を付けていく。
- ・忙しい時など、余裕がない時に優しく声をかけられていない時があると思うので、いつでも同じように関わられるように心掛ける。
- ・保育の計画を進めようとしたり、ケガを防止しようとしたりする余り、ゆっくりと時間をとり癒癒や思いの主張に向き合う時間は十分ではなかったなので、役割分担を明確にして対応すべきだった。
- ・丁寧な言葉でないこともあるので気を付けたい。
- ・正しい名前のあとに「くん」「ちゃん」をつけるようにすればよかったですと思います。
- ・適切な言葉使いで特に褒め方など今年度気を付けていきたい。

保護者への対応

園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている。	3,6
子育てパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。	4,2
送迎時に子どもの姿(ケガ含む)を必ず伝えている。	3,6
丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている。	4,1
親しくなったからといって、ため口や友達同士のよう話し方、上から目線で会話をしていないか。	4,2
すべての保護者と公平に関わっている。	4,2
保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	4

良いところ

- ・保護者からの育児相談があれば担任間で話し合いの場を設け、丁寧に対応することができた。
- ・保護者の話をできるだけ聞こうとした。
- ・迎える時は、保護者の方も安心できるよう元気に登園してくれた事に感謝を伝えた。
- ・保護者と直接関わることはほとんど内が、ノートでは子どもの様子や園での活動が伝わりやすく書くことを心掛けている。
- ・直接保護者の方と関わることは少ないが連絡帳などを記入する際には対応に気を付けている。
- ・送迎時では色々なクラスの保護者の方と話すことができてよかった。
- ・保護者との関わりはほとんどないので、毎日のノートなどで保護者の方の思いを少しでも理解できればと思います。
- ・家庭や園での様子をよく伝え合い、一つ一つできるようになったことを共に喜び合うことができた。
- ・連絡ノートや、送迎時に伝えられている。
- ・自らの子育ての時の話を連絡ノートに書いて、子育ての共感ができたと思う。

改善点(策)

- ・手拭きタオルや布団等、園からの持ち帰りがきちんとできないことが何度もあった。そういった忘れ物もしっかりとなくしていくことでより保護者との信頼関係を深めていきたい。
- ・どんな時も子どもの良い所を伝える事を忘れずにいたい。
- ・連絡ノートで、より具体的に分かりやすく子どもたちの様子を伝える。
- ・今後も保護者の方への対応はしっかりと行うよう心掛けている。
- ・保護者の顔を覚えるまで時間がかかるので、送迎時のコミュニケーションを大切にしていきたい。
- ・体調を崩した時の対応について園としてのルールを十分に理解頂けていないこともあり、保護者によって差のある対応になってしまっているため明確なルールを設け伝えあう必要があると感じた。
- ・お迎え時に他者お重なり待っていただく事があるので、待っていただく時間を短くし、臨機応変に動けるようにしたい。
- ・園内の湿度や温度調整など細かく聞かれたときすぐに答えられずすぐに答えられるように改善していきたい。

自然や社会との関わり(散歩・戸外あそび)

適度に園庭やお散歩に出掛けている。	3.8
生き物や植物を大切にしている。	3.8
近隣地域の人、来園者に明るく挨拶ができています。	4.1

良いところ

- ・目に見える自然だけでなく、見えない風等の自然も感じられるよう保育を勧める事ができた。
- ・戸外で自然物についてみんなで話したりしているうちに興味を持つ子どもも出てきた。
- ・公園で出会った人に挨拶している。
- ・四季を感じながら、お花の様子など言葉がけをしながらお散歩できた。
- ・散歩のときに会った方々にも、明るく挨拶するように心掛けている。
- ・散歩に行ったときに生き物や植物を通して子どもと話しをしたり挨拶もきちんとできるように心掛けている。
- ・楽しくお散歩が出来るように植物や生き物が目に留まる時は子どもたちに声を掛けられるように心掛けている。
- ・戸外活動は多く取り入れることができ、地域の方々とも友好に交流することができていた。
- ・公園が近くなるべくいけるようにした。
- ・子どもたちも公園のベンチに座っている人や花のボランティアの方に挨拶できた。

改善点(策)

- ・秋のどんぐりや落ち葉を使っての保育は充実していたが、その他の季節では自然に触れる機会が多くとれなかったのもっと工夫をしていきたい。
- ・遊びを提供するばかりでなく、子どもたちからほしいことを聞いて取り入れていきたい。
- ・お散歩コースに咲いているお花の名前は把握したい。
- ・今後もしっかり続けていきたい。
- ・戸外での遊びを楽しめるように、遊びのレパートリーを事前に用意して活用できるようにする。
- ・植物の名前が分からないことがあるので、もう少し知識を深められたらと思います。
- ・植物に触れることや持ち帰ることについて保育者により対応が異なり戸惑うことがあったので確認すべきだった。
- ・生き物に興味を持てるよう保育にもっと取り入れる。
- ・挨拶をしたとき、子どもに握手しようとする人がいたので、コロナ対策の為握手は避けたい。

保育士としての能力(良識・適正)及び態度(姿勢)	
園内・園外研修に積極的に参加している。	2,5
自らの保育を振り返り、第三者の意見を聞きにしている。	2,6
自らの保育を振り返り、第三者の意見を取り入れている。	2,9
自身の保育を振り返り評価反省を行い、次の保育に生かしている。	3,7
まだ、自分にできることはないか、協力できることはないか自ら声をかけている。	3,4
自己の体調を管理し、他職員に迷惑をかけないように努めた。	3,7
子どもの事、クラスの出来事、保護者からの苦情(相談)等、必要なことは、施設長(管理者)や主任に「報告・連絡・相談」している。	4,2
園の消耗品や教材は節約して使っている。	4,1
職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていないか。	4,3
他の保育士の意見を尊重できている。	3,9
提出物を期限内に提出できている。	3,5
良いいところ	<ul style="list-style-type: none"> ・前の週に主の先生が行った保育を基に、次の週はもっと発展させて楽しめないかを考え、保育案を立案することができた。 ・何でも一人で判断しないように心がけた。 ・この一年も体調を崩さず過ごすことができた。 ・報、連、相は常に意識しできるだけ担任の先生のお力になれるよう動くことを心掛けている。 ・プライバシー保護には気を付けた。 ・保育がスムーズに進むように、担任の先生に確認して自分ができることお探して ・保育の中で判断に迷ったときや今後について保育者間でよく相談し合うことができ、よい雰囲気でも過ごすことができた。 ・他の保育士の意見を聞くことができ、とても保育に役立つことがあった。
改善点(策)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の書類など、月が進むにつれ遅くなってしまいがちなので、しっかりと期日までに提出できるよう余裕を持って作成する。 ・もっとやらないといけないことはあったので今後気を付けていきたい。 ・保育園で過ごせることに満足するだけでなく、自身の振り返り、改善していく。 ・他の保育士の先生の様子を見て、自分で考えて動くことが多かった。もっと声に出して連携をとって動くようにしたい。 ・研修に参加する機会があれば積極的に参加していきたい。 ・受け身であることが多かったので、周りへの声掛けや連携を進んでとっていきようにする。 ・自分の保育を第三者の方に聞いたことはあまりないので疑問に感じた事、うまくいかなかったときは相談し、自分の保育を振り返る。 ・勉強不足で知らない事が多く、相談することも多かったが、自主的にもっと外部を含めて研修に参加したり書籍を読むなどもっとすべきだった。 ・園外研修に全く参加できなかったのを積極的に参加する。 ・提出物をいつも期限内に提出できなかった。

安全面及び衛生面

給食及び間食を提供の際は、アレルギー食の配慮や工夫がされている。	3,9
施設設備や園庭、お散歩道中の危険箇所を把握し、安全点検を行っている。	3,7
常に危険を予知して保育に取り組んでいる。	4,9
危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制ができている。	3,5
保育室の換気、温度・湿度に配慮して保育している。	3,8
子どもの健康状態やケガを記録し、職員間で把握できている。	3,5

良いところ

- ・アレルギーの可能性が低いと考えられる少しの皮膚の変化でも、担任、看護師、保護者間で情報共有を行い注意して見守ることが出来た。
- ・危険なことがないか気を付け、子どもたちにも声はかけていた。
- ・クラスに入った時は全体を見わたせる位置いる。
- ・見た感じでいつもと違う様子の子は、担任の先生に確認するよう心掛けた。
- ・お散歩中にも職員同士で危なそうな場所は声をかけあって安全につとめている。保育室の温度、湿度にも常に配慮に速度計を見ながら対応している。
- ・体調不良や怪我の際は特にお力になれるよう心掛けている。
- ・配膳時に調理の方にアレルギー食の有無を確認している。体調が勝れない時は、担任の先生から状態を聞き、体調の変化に注意している。
- ・転倒やぶつかりに対し即時に対応して下さることが多く、念のためでも軽く済まさずにいたので大きなケガやアザになることがなかった。
- ・栄養士の方ともアレルギーについて配慮や工夫を話し合う事ができた。

改善点(策)

- ・他クラスのアレルギー児の情報についても、自ら積極的に知ろうとしていきたい。
- ・緊急時の対応をもっとしっかり覚えておかないといけないと思う。
- ・子どもが嘔吐したとき、おもらしたときの対応、処理の仕方を教わる。
- ・緊急時にしっかり対応できるよう、日々確認しておく。
- ・常に全体の動きを把握できるように心掛けていきたい。
- ・怪我をした際の記録も、その日に記入し職員間で共通理解できるように努める。
- ・緊急時の対応には不安があるのでイメージトレーニングを続ける。
- ・子どもによってアレルギーが判明していないこともあるので、もしも症状が出た場合はその状態を写真や動画におさめるなどし、保護者とも共有できるようにしておけばよかった。
- ・小さいこともヒヤリハットに記入する。
- ・子どもの活動が活発になっているので公園に行く時など、又、春の遠足などしっかり危険箇所を保育者同士話し合いたい。